

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	一般社団法人地球緑化クラブ
活動タイトル	内モンゴルホンシャンドーク沙地における自立型緑化事業
活動地域	中国内モンゴル自治区シリングル盟正藍旗



4月14日 在来低木種植栽作業

【活動の目的・目標】

過放牧などにより急速に砂漠化が進行しているホンシャンドーク沙地にて、複数在来低木種の植栽による緑地再生を行う。また、同時に緑化資材自給化と住民の緑化技術向上による事業自立化を果たす。事業自立化により、長期間安定的な緑地拡大を目指す。



4月14日 植栽後の在来低木種苗

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

内モンゴルでは2023年夏、稀に見る干ばつに見舞われた。これにより在来低木種の苗木は一部枯死する結果となった。しかしながら本事業では1穴に4本の苗木を植栽（これを1株とする）しているため、被害は最小限となり補植などのリカバリー作業は必要なく済みそうである。



4月20日 植栽作業に参加した現地の方々

【活動の内容・成果】

開催回数：21回(21日間)

参加人数：一般15名(延べ155名)、団体スタッフ2名(延べ42名)

達成率：75%

全行程正藍旗ホンシャンドーク沙地緑化事業地にて現地スタッフ2名が指導・監督のもと実施。
<4月8日～10日>近隣住民延べ20名により3日間で榆5,000本を植栽。

<4月12日～4月23日>近隣住民延べ90名により12日間で樟条(ニンティアオ)50,000本(1穴=4本)、羊柴(ヤンツァイ)50,000本(1穴=4本)、株数にしてそれぞれ12,500株を植栽。

<4月25日～4月30日>緑化事業地外周に近隣住民延べ45名6日間で防護柵1,000mを設置。

【団体概要】

地球緑化クラブは緑化活動だけではなく、一連の活動により現地の方々の生活向上も目指しています。また、砂漠などの現場で30年以上経験を積んだスタッフを中心に、常に効率的かつ効果的で地域に根付いた緑化活動を目指しています。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



【4月6日】

契約育苗会社より榆、羊柴、檸条の苗木を現地
スタッフ立会いのもと購入



【4月8日】

指導・監督役の地球緑化クラブ現地スタッフに
よる在来低木種の植栽方法についての説明



【4月27日】

植林事業地外周にて金網防護柵設置作業実施



【7月28日】

地球緑化クラブ現地スタッフによる2023
年春植栽の在来低木種苗の生育・活着調査